

平成 21 年度第 6 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1) 日 時 平成 22 年 3 月 18 日 (木) 14 時 00 分～17 時 00 分

2) 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス

3) 出席者 (敬称略、順不同)

大阪大学附属図書館	稲葉 洋子
関西学院大学図書館	兄井 栄子
京都大学附属図書館	渡邊 伸彦
神戸大学附属図書館	土屋 祥子
大阪府立大学学術情報センター	武藤 記子
大阪国際大学総合メディアセンター枚方図書館	尾崎 茂夫
京都産業大学図書館	真部 理恵
追手門学院大学附属図書館	高畑 悦子
京都学園大学図書館	清水 漸

(神戸市外国語大学学術情報センター 飯島委員は欠席)

4) 議 事

1) 主査の交代について

学内異動により尾崎主査が能力開発専門委員のポストを離れることになったため、後任の主査として高畑委員を選出した。また副主査を渡邊委員が務めることとなった。

2) 平成 22 年度研修事業について

① 運営委員会報告

3 月 11 日に開催された運営委員会において「初任者研修」企画案が承認されたことが尾崎主査より報告された。研修会の開催は 6 月 24 日 (木) ～25 日 (金) に決定し、情報交換会場の手配が済んでいることが稲葉委員から報告された。

② 役割分担について

尾崎委員のポストは私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会総会 (5 月) まで空席となるが、研修の開催時期が迫っていることもあり、後任の委員には内定の段階でオブザーバーとして専門委員会に参加していただけるよう働きかけることになった。

役割分担表案にそって分担内容を検討し、担当者を決めた。

運営委員会連絡担当	高畑・渡邊
会計担当	稲葉・渡邊
講師担当	兄井（業務別テーマ研修の講師）・高畑（三川先生）
研修者担当	真部・飯島
会場担当	稲葉
配布資料担当	武藤
情報交換会司会担当	土屋
当日受付担当	武藤・真部・土屋・私大阪神地区代表委員
司会担当	高畑
記録担当	清水（写真撮影・録音）兄井（アンケート）

③ スケジュールについて

資料にもとづきスケジュールの確認を行った。

- ・業務別テーマ研修で担当講師未定のものについては、できる限り4月1日までに決定して報告することとした。
- ・研修内容案は4月2日までに完成して運営委員会へ提出することが確認され、提出する各文書について検討を加えた。検討結果の修正は委員が分担して行い、3月24日（水）までに専門委員会メーリングリストに修正案を流すこととした。提出された修正案は委員全員で確認して随時意見を述べ、意見提出最終期限（3月26日17:00厳守）後、高畑主査、渡邊副主査が最終案を取り纏めて運営委員会に諮ることとした。

各委員の分担は次のとおり。

応募用紙・講師依頼文（三川先生宛）	高畑
研修日程表・講師一覧表	渡邊
募集要項	尾崎
開催通知	稲葉
許諾書・同意書（個人用・機関用）・講師依頼文（各機関宛）	兄井
機関別推薦書	真部
初任者研修関係スケジュール	武藤
役割分担表	土屋
全文書について最終チェック	清水

- ・運営委員に対して1日目の研修および情報交換会への参加を呼びかける文章を、次回運営委員会（メール会議）のメール文に加えてもらうよう事務局に依頼することとした。

- ・参加募集締切は5月13日（木）17：00とし、その後18日（火）までに応募まとめを行い、19日（水）に参加者を決定することとした。
決定通知は24日（月）に発送することとなり、同時に「受講者の皆さまへ」と広報資料展示についての案内文書を送付することが確認された。
- ・講師原稿の締め切りは5月20日（木）とし、まとめ・編集作業終了後、5月31日から6月4日の週に最終稿を運営委員長に確認してもらい、6月7日から約1週間の予定で印刷することとした。
また広告については、広報・Web 専門委員会と連絡を十分取りながら進めていくことが確認された。
- ・委員の交代等があるので、顔合わせの意味も含めた第1回能力開発専門委員会を5月19日（水）に開催し、応募状況報告、受講者決定確認、決定通知文書等の原稿チェック、各分担の状況報告を行うこととした。
第2回専門委員会は6月16日（水）に開催し、研修会場の下見を実施することとした。

3) その他

- ① 国立情報学研究所から近畿イニシアティブに対して近畿地区の目録システム/ILLシステム講習会開催について協力依頼があり、平成22年度中の運営委員会において「平成23年度の対応」について検討されるとの報告が稲葉委員からあった。
- ② 兄井委員から、平成21年度中級研修報告書の余部が27部あるので近畿地区以外の適当な機関があれば送付してはどうか、また報告書をネット配信してはどうかと運営委員会からの意見があったことが報告され、これを受けて近畿イニシアホームページに報告書完成についての記事を掲載してもらうよう、表紙データと研修カリキュラムを送付することになった。

以 上